

日本語/日本語教育研究会

第15回大会 (ハイフレックス開催)

2023年10月1日(日)

9:30 開場・受付 ・ 9:50 開会挨拶

会場：学習院女子大学（2号館）

■講演：対面（会員・非会員）・Zoom（会員のみ）：質問は、対面参加者を優先します。Zoom参加はチャット欄から質問してください。

会場：3階236

10:00-11:00	講演	希望表現「～たいです。」をどう教えるか	前田 直子	学習院大学・教授
-------------	----	---------------------	-------	----------

■ポスター発表：対面（会員のみ）

会場：3階234・235

11:10	A1	「東京は渋谷に来ております」におけるハの用法に関する一考察	顧 滌非	専修大学・学部生
	A2	日本語母語話者レベルの正確さを目指す日本語学習者ための「～ていく」「～てくる」の指導一文脈化の試みー	程 虹剣	関西大学・大学院生
	A3	話し言葉における中国人日本語学習者の前置き表現の使用実態ー日本語と中国語の比較を通してー	徐 单	関西大学・大学院生
	A4	「新文科建設」政策に対する教育現場の教師の捉え方	王 金艶	城西国際大学・大学院生
	A5	中国人日本語学習者の母語を配慮した持続的文法学習ー～メモイカの提示方法の改善を例としてー	李 彪	関西大学・大学院生
12:10	A6	「語句・形式の欠落」の改善における「格枠組み」の教示の有効性ー特定と訂正においてー	李 強楠	関西大学・大学院生
	A7	中国人日本語学習者の発話における非流暢性に関する研究ー日本語母語話者との比較を通してー	牟 玲	名古屋大学・大学院生
	A8	漢語サ変動詞「充実する」の自他使用の考察から導き出された「図る」の使用について	長坂 裕子	目白大学・大学院生
	A9	なぜ「～きらいがある」を正しく産出できないのか	張 明	学習院大学/文京学院大学・非常勤講師

12:10-13:30 昼休み 【1】ポスター発表者と話そう/【2】研究相談会（【1】【2】のいずれも対面のみ）

■口頭発表：対面（会員のみ）・Zoom（会員のみ）：Zoom参加者（会員のみ）は視聴のみ可能です。質問はできません。

会場：3階236

13:30-14:05	1	日本語のアクセントについて学習者はどう考えるかー発音特化授業を初めて受講した学習者の場合ー	劉 羅麟	早稲田大学・助教
14:10-14:45	2	外来語系接尾辞「チック」の造語について	王 雨	東北大学・大学院生
14:50-15:25	3	依頼場面における中国語を母語とする日本語学習者の言いさし表現の使用実態ー日本語母語話者と比較してー	郭 テイテイ	関西大学・大学院生
15:30-16:05	4	なぜ「コピュラ文」と「存在文」が談話主題を導入する際に用いられるかー名詞句の指示性の観点からー	ニームチャラーン ニーラチャー	東北大学・大学院生
16:10-16:45	5	シナイの「未完了」の使用文脈について	道法 愛	広島大学・大学院生

16:45-17:00 閉会挨拶・事務連絡など

参加申し込み（9月30日締切） フォーム <https://forms.gle/nHRqn76u8kvtN5ey6>

■参加者のみなさまへ

- ・ 当日は日曜日ですので「正門」(右記①)は閉まっています。
- ・ 入構の際は、「北門」(右記②)をご利用いただくことになります。
- ・ 入構の際は北門にて日日研参加の旨を申し出てください、記帳をお願いする形になります。
- ・ 会場(2号館)は、右記④です。
- ・ 昼食は、教室でお取りいただけます。ただし、黙食にご協力ください。



■口頭発表者のみなさまへ

- ・ PCは、各自持ち込みをお願いします。
- ・ 出力は、HDMI、VGAのいずれもあります。各教室にHDMIのみケーブルがあります。

■ポスター発表者のみなさまへ

- ・ ポスター掲示は、当日朝から可能です。講演開始前に参加者に見てもらえることもできますので、ご活用ください。
- ・ 教室は次の通りです。

	1・2・3・4	5・6・7・8・9
A	234	235